

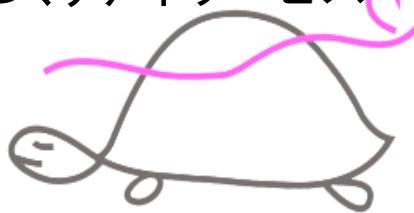
認知症対応型通所介護
優つくりデイサービス

平成29年1月号

発行元



社会福祉法人 奉優会
高円寺北ふれあいの家



にじ

編集：国井 圭祐
お問い合わせ：03-3330-4903
E-mail：kouenjikita-day@foryou.or.jp

KOUENJIKITA FUREAINO-IE SINCE 2006

クリスマス会



にじフロア活動報告

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。
さて12月はクリスマス会と忘年会が行われ、沢山の方々にお越し頂きました。二日間に渡り、一般デイの皆様による歌の発表会やボランティアさんによるイベント、職員によるフラダンスなどをお楽しみ頂きました。今年度のクリスマス会はいかがでしたでしょうか？また忘年会では一年を写真やエピソードと共に振り返り、思い出話に花を咲かせました。
今年も皆様と一緒に楽しい思い出を沢山作っていくことができたらと思います。

KOUENJIKITA FUREAINO-IE SINCE 2006

～風～

臨床美術

●臨床美術とは、本格的な芸術を有し、脳科学に基づいたアートカリキュラムに沿って創造的な活動により脳機能の活性を促すことを目的としています。



谷口直子ST（言語聴覚士）より



私たちは肺から出る空気を喉にある声帯という器官にぶつけて声を出します（発声）。ここで作られる音は、ポーというオーボエのような音で、あまり大きい音ではないと言われています。その後、喉、鼻（鼻腔）、舌、頬、上顎（硬口蓋、軟口蓋）、下顎、歯、歯茎などを使って、音を大きくしたり（共鳴）、色々な音を作ります（構音）。誰かと話をする、本などを音読・朗読する、歌を歌うことなどは、発声・構音のいい機会になります。ご家庭で、デイサービスで、そのような機会を多く作ればと思います。

国井圭祐の編集後記



年末年始は実家の秋田に帰省をしてきました。年末年始というと大雪で初詣に行く事さえ億劫になってしまう程なのですが、今回は雪も多くな、く、年末年始とは思えない程でした。お正月もあっという間に終わり、あまりゆっくりとは過ごせなかつたです（笑）。

